

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

——神蹟を中心として——

高 津 茂*

はじめに

筆者は、かつてヴェトナム阮朝初期における三壇三廟（社稷壇・先農壇・山川壇・文廟・会同廟・城隍廟）をほぼ全省にそれぞれ創設したことを通して国家祭祀の統合が図られたことを実証した⁽¹⁾。その意味では各省ごとに作られた城隍廟は阮朝初期になって初めて行政ヒエラルヒーに対応した礼制改革が確立した中で成立したといえよう。この三壇三廟の中で、鎮守の神としての性格を持つとされる⁽²⁾城隍廟は、国家や省レベルのみならず村落における祭祀の重要な一翼を担うものと思われる。しかし、阮朝初期以前のヴェトナムの村落に祀られた城隍にあっては、極めて幅広く解されているように思える。本小稿はこの阮朝期以前のヴェトナムにおける城隍について考察をし、城隍神祭祀をめぐる特性を明らかにすることを目的とする。

なお、ヴェトナム語は本来声調言語であり、アルファベットでのクォック・グウ表記に当たっては声調符号を付けるべきではあるが、活字等の関係からアルファベット表記のみに留めた。

1. ヴェトナムにおける城隍 (Thanh Hoang) の解釈について

城隍 (Thanh Hoang) を『儒佛道辞典』(TU DIEN NHO PHAT DAO) で調べると、「古代神話の中では、都市を守る神。後に道教信仰となる。道教では「剪悪除凶。護国保邦。」の

神位と見なされている。この神は、人々の請願の言葉にに応じて、豊作でみんなが豊かな生活を送れるように、旱の時には雨を降らせ、洪水の時には雨を止まさせてくれる。また、城隍は亡魂の領域を管理する神位とも見なされている。各道士が道場で「超度亡魂」の礼を行う時、城隍に報告する文書を発しなければならず、そうして初めて亡霊の「解文」を壇にのぼせることができる。」⁽³⁾とあり、現在のヴェトナム宗教学者の解釈が知れる。

近年、城隍について纏まった研究を著したグウエン・ズイ・ヒン (Nguyen Duy Hinh) は「わが国の城隍には、互いに異なる2つの系統がある。封建中国の様式の城隍の系統とヴェトナム人の村落の城隍の系統である。村の城隍の系統の中では、通常城隍の二文字で示され、文書の中では當境城隍とか本境城隍等の各詞が用いられる。當境城隍、本境城隍、本土城隍は、元来地方に属する神位で、皇帝が官吏を派遣しない在所の神位を指す概念である。通常皇帝が賊を討つために地方を行軍した時に、陰扶があり、皇帝が公認したものが城隍である。後になって各朝廷の皇帝は彼らが既に祀っている村神を呈示させ、皇帝は城隍として封じるかを検討し、敕封すなわち証書を発給した。」⁽⁴⁾と記している。また、社会学者であるトアン・アイン (Toan Anh) は、「城隍は、村民が平安の内に繁栄できるように保護し、村民を庇護することで社村全体を管轄する神霊である。また、城隍は扶董天王や渚童子などのような天神であ

り、傘圓山神や蘇瀝江神などのような名山大河の神であり、李常傑や黎鳳暁や陳興道のように、民衆や国に対して生前に功労があって、死後にも人々が恩を感じて奉りに行く人神でもある。』⁽⁵⁾とし、更に加えて、時には城隍は、村落に功績のあった人や、妖神、邪神、靈に遭遇して死んだ人などで、村民が祀っているものでもあり、生きている人を城隍として祀った村もあるとしている。すなわち、トアン・アインによれば、城隍とは天神であり、名山大河の神であり、功臣のような人神であり、妖神であり、邪神であり、……。文字通り百神に近い概念を提示している。また通常各城隍は、妖神や邪神のほかには、皇帝が封じた敕を得ており、古い俗例に従って皇帝は各城隍を国や民への功績に従って上・中・下等神とし、この封賜こそが城隍神の経済的基盤であるとも指摘している。

このトアン・アインの解説は、グウエン・ズイ・ヒンのいうヴェトナム村落の城隍の系統に関するものと解することができよう。

グウエン・ズイ・ヒンは、『TIN NGUONG THANH HOANG VIET NAM』（『ヴェトナム城隍信仰』）の序で、ヴェトナムにおける近代民間宗教研究史に触れる中で、グウエン・ヴァン・コアン (Nguyen Van Khoan) の 'Essai sur le Dinh et le Culte du Genie tutelaire des villages au Tonkin', (BEFFEO XXXI) というフランス語の論文名を、'Nghien cuu ngoi dinh va Thanh Hoang lang o Bac Ky' と訳している。即ち、Genie tutelaire (守護神) に Thanh Hoang (城隍) の訳語を当てているのである。同じようにグウエン・ヴァン・フウエン (Nguyen Van Huyen) の 'Apropos d'une carte de repartition des genie tutelaires dans la province de Bac Ninh (Bac Ky)', Ha Noi, 1941をも 'Ve mot ban do phan bo cac Thanh Hoang trong tinh Bac Ninh (Bac Ky)' と訳したうえでグウエン・ヴァン・フウエンのバク・ニン (Bac Ninh 北寧) における genie tutelaires (守護神の意) の分布を次のように紹介している⁽⁶⁾。

2世紀以前	雄王時代の神位	105位
2世紀～10世紀	北属期	116位
10世紀～13世紀	丁朝・李朝	127位
13世紀～18世紀	陳朝・属明期・黎朝	77位

中国における城隍神信仰の成立が南北朝であるとの定説に従うなら、ヴェトナムの城隍が5世紀以前に分布するということはありません。よって、雄王時代 (thoi dai Hung Vuong) の守護神を城隍とするのは当たらない。より正確に言えば、5～6世紀以前の事跡を持つ土神が後に守護神としての性格を持つと解され、実際は後代にあって城隍という名を敕封という形などで冠せられたと理解するのが至当であろう。

このように、現代のヴェトナムにおける城隍についての解釈は、研究者の間でも些かの幅があるという点が、ヴェトナムの城隍神信仰の特徴といえよう。

2. ヴェトナムにおける城隍の初例について

ブウ・ゴック・カイン (Vu Ngoc Khanh) は、ヴェトナムにおける最初の城隍は、高駢が羅城を築くにあたって「都府城隍神君」の語を用いたことに始まり、この城隍の名は蘇瀝で、李朝は国都昇龍城隍大王に封じ、陳朝では保国鎮靈定邦国都城隍大王に封じ、黎朝の1442年に至って黎の仁宗が都大城隍の神を祀る壇を設けたとしている⁽⁷⁾。

(1) 『粤甸幽霊集』「保国鎮靈定邦城隍大王」について

陳朝の李濟川による神祇の略伝や靈驗と称号の付与を記した『粤甸幽霊集』⁽⁸⁾の歴代人臣に「保国鎮靈定邦城隍大王」についての記述が次のようにある。

「按交州記、王姓蘇名百，世居賁度郷江水側，三世同居。晋時旌表其閭，號所居為蘇百村。王初舉孝廉，為龍度令，有忠孝之名。

唐穆宗長慶中，都護李元喜見龍城北有逆水，乃相地移府。其地是王故宅，因奏請封王為城隍神，立祠祀之。夜夢王來告曰，某主此地久矣。

君為教導吾民以義，方能久居。元喜許諾。迨高駢築羅城，聞其事，具禮致祭，尊為都府城隍神君。李太祖遷都龍城時，夢王來拜謁，具言姓名。帝覺而命祭，封為國都昇龍城隍大王。陳重興元年，封保國二字。四年，加鎮靈二字。隆興二十一年，加定邦二字。」

これによれば、初めての城隍の名は蘇瀝⁽⁹⁾ではなく、蘇百で、唐の穆宗の長慶年間（806-824）に都護李元喜の奏請により王に封じられ城隍神となったことが初めであり、この蘇百の話聞いた高駢が羅城⁽¹⁰⁾を築く⁽¹¹⁾時（866）に都府城隍神君としたことをブウ・ゴック・カインが最初としているのは、正確とは言いがたい。ただ、神話としては9世紀に城隍神が成立したといえよう。その後で李の太祖（1009-1027）が昇龍城に遷都するときに夢に出てきたことから國都昇龍城隍大王に封じられたことが知れる。李太祖が昇龍城を築いたのは順天五年（1014）冬10月であることから、神話上はこの年前後のことと思われる。

(2) 李朝期の祭祀について

李朝期の祭祀を窺わせる記事は、『歴朝憲章類誌』（以下『類誌』と略す）「祭告稷誓之禮」の「盟誓禮」の項に「李太尊天成元年（1028）春二月，立銅鼓山神廟于京師，行誓盟礼。初征諷^{フン}等叛，前一日，帝夢見神人自稱銅鼓山神，語帝以武德東征且為變，可速調討之，卒有警備平其亂。至是以王爵封之，命有司立廟于大羅城右伴，聖壽寺後。行盟誓礼，為壇廟中，讀誓書於神前，日為子不孝，為臣不忠，神明殛之，群臣自東門入敵血。以是月二十五日始，其儀歲以為常。」とある。この内容を詳述したものが『粵甸幽靈集』の「銅鼓山主傳」にあり⁽¹²⁾、『嶺南撫怪列傳』にもある⁽¹³⁾。版本により些かの異同はあるものの、その内容は、「李の太宗が太子の時に占城に遠征をした。途上長洲で泊まった夜、夢に出てきた神が「王師に従うを請うた。」その陰扶があってか凱旋して、太子は神位を迎えて京師に戻り、福神に封じて祠を立て

た。太子の夢に神が来て、大羅城の右邊，聖壽寺の後に居ることを請うた。太子は太祖に奏上して太祖もこれに従った。太祖が崩ずるに及び、太子が即位するとその夜の夢に神が来て、翊聖等の三王が乱を為すことを告げた。翌日皇叔の翊聖王と武徳王，皇弟の東征王が府兵を率いて反乱を起こした。太宗は難なく平定し，敕して神に王爵を封じ，「天下主盟福神」となした。」というものである。

『大越史記全書』（以下『全書』と略す）卷二太宗 天感聖武五年（1048）「立社稷壇于長廣門外。四時祈穀。」とあり，占城や哀牢の平定に自信を得た表明として社稷を祀ったものと思われる。更に『全書』卷四 李紀三 高宗 天資嘉瑞四年（1189）に，「三月。帝遍幸江山。凡乘輿所至。有神祇者。皆賜封號。立廟享祀。」とある⁽¹⁴⁾。上述したように，城隍が百神の一つであるなら，「封號。立廟享祀。」の対象となったと思われる。ただ，李朝において城隍を具体的に祀ったという記事は，『全書』には見られない。

李朝は仏教による鎮護国家を志向したと思われる⁽¹⁵⁾ことから，個々の靈応陰扶のあると思われる土神を祀るということは，神話等の資料に散見されるものの，国家の祭祀政策としては乏しいといえよう。

(3) 陳朝期の祭祀について

『粵甸幽靈集』によれば，李の國都昇龍城隍大王は，陳朝では重興元年（1285）に保國の二字を，同四年（1288）に鎮靈の二字を，更に隆興二十一年（1313）に定邦の二字を加封されている。これは後藤均平⁽¹⁶⁾が指摘しているように元軍との戦いの中で歴代人君・歴代人臣・浩氣英靈28神が国家存亡の危機に立ち上がり，靈威を發揮して挙国抵抗の先頭に立って戦ったことによる。保國鎮靈定邦城隍大王の記事は，表1に見るように28神一括封敕加字の一つに位置づけられる。重興元年（1285）は元の第二次侵略を打ち破った年であり，重興四年（1288）は

元の第三次侵略を白藤江に滅ぼした年である。その意味で『粵甸幽霊集』は、ヴェトナム全土の生ける者も死せる者も一体となった中で、英雄豪傑や天神地祇の靈応を記した陳朝期国家祭祀の記録でもある。単なる古代神話の話ではない。

しかし、一括封敕をした重興元年や一括加字をした重興四年前後の史書を見ても、『全書』卷五 陳紀一 仁宗 重興元年(1285)に「十二日。加尊先帝・先后徽號。」とあり、『全書』卷六 陳紀二 英宗 興隆七年(1299)「六月。徧祭山川神祇。」とあるのみである。あまねく山川神祇を祀って元の侵略を退けた靈応陰扶への戦勝報告と感謝を窺わせるのみで、一括封敕加字に見られるような祭祀政策を窺わせるものではない。

『全書』卷六 陳紀二 英宗 興隆二十年(1312)の条に「加尊先帝・先后徽號。及加封各處名神。立芹海門神祠。先是。帝親征。至芹海門。前日乾。避諱改為芹。駐營。夜夢神女泣曰。妾趙宋妃子。為賊所逼。困於風濤至此。上帝勅為海國久矣。今陛下師行。願翼贊立功。帝覺。……至是。命有司立祠。時祭焉。」「追尊昭王為元祖皇帝。恭王為寧祖皇帝。懿王為穆祖皇帝。」とあり、割註に「史臣吳士連曰。周武受命。追王二祖。宋祖御圖。追帝四世。蓋以祖宗積功累仁。以至有天下。則尊號饗廟。在所當急。陳氏有天下。身履帝位。而追封三祖以王爵。既非人心所安。至是始追尊帝號。又失之緩矣。」とある。先帝や先后に尊号をおくことは祖靈を尊ぶ点では推奨されるべきことではあるが二王までが平時の追尊であるにもかかわらず英宗は三祖に王爵を報じている。未だ礼制が確立されていないことが伺えるとともに、各地の名だたる神々も加封されている。加えて芹海門神祠を立てた際の靈応陰扶が添えられている。この芹海門神祠に祀られた神は、夫人の姓が趙で南宋の公主であったことから、『粵甸幽霊續集』⁽¹⁷⁾等に記されている乾海門尊神⁽¹⁸⁾に等しいものと思われる。この乾海門祠の由縁は、陳の仁宗紹寶元年(1279)、

張弘範が宋の軍を崖山に襲い宋軍が潰えた時、左丞相陸秀夫は帝昀を抱いて海に溺れ、宗室や官軍海に赴く者が十余万人もいた。趙夫人ら母子三人は船板に捕まって漂い、仏寺につき、僧が憐れんで収容した。数ヶ月で体調は回復し容貌は秀麗であった。僧は夫人と通じようとしたが夫人に頑なに拒まれ、自ら愧じて海に投じて死んでしまった。母子三人は僧を頼りに生きてきたが、僧が母子のために死んでしまったので、心安らかにはいられないとして又海に投じて死んでしまった。漂って濱州の乾海に至ったが、玉色で生きているようであった。土地の人がこれを異として葬った。その後度々靈異が顕れたので祠を立てこれを祀った。凡そ海船に波浪が迫った時にこの神に捧るとたちまちしずまった。そこで海口の随所に祠を立てたが、靈が応じないことはなかった。

この乾海門神祠の縁起を知って上述した『全書』の記事を読むと、「帝(陳の英宗)が親征して乾海門に至って駐營した。夜帝(英宗)の夢に神女があらわれ泣いて言うには、「私は趙と申します。宋の妃のむすめでしたが、賊の逼る所となり、風濤に困りここに至り、上帝の勅により海神と為って久しゅうございます。今、陛下の師行にあたり、願わくはお力添えをさせていただき功を立てとうございます。」…(以下略)」とある。この興味深い点は、海神が帝に、手助けをして功を立てることを願い出るといふ点にある。この濱州一帯で形成され、波濤をしずめるという靈異伝説を持つ土神が、現世の支配者である帝に陰助により功を立てることを願い出ているということは、帝は上帝の陪臣である土神をも支配下においているといふことの表白と捉えることができよう。

陳朝期にあつては、元の侵略もあり、天神であろうと人格神であろうと、妖神であろうと邪神であろうと、靈界の神々をも総動員して戦うことが必要であった。その主な神々の祭祀台帳という性格を持ったのが『粵甸幽霊集』であつたと思われる。陳朝礼制の一部としての祭祀制

度が全体として確立されているとは言い難いが、個々の神々が持つ靈験を帝が支配することを窺わせる記事が史書に見られるようになってきた点が陳朝期祭祀の特性と言えよう。ただ、『粵甸幽霊集』の「銅鼓山主傳」の記述が史実に基づくとするなら、陳朝期の城隍と推測できるのは保國鎮靈定邦城隍大王のみであろう。

3 国一府一州一縣レベルの城隍祭祀体系の構築に向けて・・・屬明期の祭祀について

『全書』卷之九 屬明紀 明永樂十二年(1414)の条に、「九月。明黄福榜示各府州縣。設立文廟・社稷・風雲・山川・無祀等神壇遺。時行祭禮。」とある。各府州縣に示したということは、国のレベルではなく、文廟・社稷・風雲・山川・無祀等の神を、行政ヒエラルヒーと対応させて設立していこうという祭祀体系の構築を表明したものである。また、社稷・風雲・山川・無祀等の神は自然の気とともにある自然神であるので風雨陽光を避ける必要は無い。よって壇で祭られる。逆にかつて人間であった人格神は屋根と壁を擁する廟で祭られるという考え方が表明されている⁽¹⁹⁾。さらに「無祀等神壇」とあり、「祀典に著されていないなどの神の壇」という意味であれば、明の「洪武元年十月平丙子の詔勅で、祀典に著ける神の申請・認可制度が制定され、⁽²⁰⁾」たこの適応がヴェトナムにも及んだことを前提とする。当然この祀典に「含まれぬ人格神は、「民に功無くして」祀る「淫祀」ということになる。もし此の規範を実直にそのまま実行するとすれば、各地に無数に所在する廟・神の圧倒的多数は、淫祠・淫祀ということになる。…(中略)…翌洪武二年(1369)正月辛丑の詔勅で、祀典に与らぬ廟でも、かつて民に功績があった事績が明らかであれば、(祀典に著けられておらずとも)その廟をば(淫祀として)撤去する必要はない。ことが宣布された。つまり、一種の緩和措置が採られたのであり、無数の祠廟が残存する法的根拠を得たことになる。⁽²¹⁾

ただ、『全書』が述べているのは屬明期における祭祀政策であって、すべてに実施されたとはいえない。なぜなら、『安南志原』卷第二「寺觀祠廟」の条に、「國朝永樂五年(1407)以後。有司依内郡之制。於各府州縣增立城隍。有軍衛處所。增立旗纛廟。春秋朔望。文武官僚。行禮祭享。

通計寺觀祠廟八百六十一
寺四百六十九。觀九十二。祠四十八。廟二百五十二。」

とある。内郡の制に拠ったとあることから、上述の洪武元年と二年の詔勅はヴェトナムにも及んだと考えるべきである。また各府州縣において城隍が増立され、中央の帝による保國鎮靈定邦城隍大王とは別に、各府一州一縣という行政ヒエラルヒーに即して城隍祭祀体系が造られようとしたことは、ヴェトナムの城隍祭祀の史的展開を考える上では、大きな転換点となったといえるものと思う。また、軍隊の営所に旗纛廟が設けられたのも屬明期からだが、実際に祭祀が始まるのは黎初からとなる⁽²²⁾。屬明期が20年程度の期間で有ったことを考えれば、祠四十八、廟二百五十二は決して多くはない。

4. 明代祭祀制度の導入・・・黎朝期祭祀について

『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太祖 甲辰(明永樂二十二年(1424))「已於八月十五日。祇告天地宗廟社稷。阜皇帝位。奏宗廟之洪祐。仰聖神之永圖。茲屬涖祚之初。宜布維新之命。」とあり、順天元(1428)を待たずして天地と宗廟と社稷に皇帝位に即位することを告げている。その上で、3年後の1427年には陳興道大王祠を修築し、廟の樹を伐ることを禁じ、また各処に令して、諸功臣廟を奉事させている⁽²³⁾。またこの時期の宗教的な風俗を伝えるものとして、『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太祖 甲辰(明永樂二十二年(1424))「禁稱巫蠱左道。假稱邪神。揺動浮言。扇惑人心者。」とある。禁止しなければならないほど、まじないや邪道

が盛んであり邪神を仮称しては根も葉もない話しをして人心を惑わせるということが少なくなかったということである。

『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太祖 順天元年(1428)には、「遣官。分祭各處山川廟社神祇。及先朝陵寢。」とあり、建元した年から各地の山川廟社の神祇を祭っている。

また、『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太宗 紹平元年(1434)「帝出較場。觀大臣黎察等及文武内外百官。告天地神祇名山大川。刑白馬歃血。盟誓及差官。致祭天下各處神祇。」とあり、李の太尊が銅鼓山神を祀ったことから始まる盟誓禮が、黎朝に至るまで行われていた⁽²⁴⁾ことが知れる。

ここまでは、李陳期の祭祀と大きな変わりは見られない。ところが、翌紹平二年に変化が窺われる。

『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太宗 紹平二年(1435)「戊申。祠社稷。」、「命官。遍祭天下祀典神祇。」とある。『欽定越史通鑑綱目』(以下『綱目』と略す。)卷之十七 黎太宗紹平四年(1437)の条には、「登秩百神。加封天下神示。命官致祭。以冊封告也。」とある。これは上述した明の洪武元年十月平丙子の詔勅同様に祀典に上せられた天下の神祇を遍く祭らせたということで、祀典に著すには神の申請・認可制度がヴェトナムでも行われたことを示している。併せて『綱目』の言う「冊封」とは冊書を封ずることであり、冊書とは一般には天子から臣下に授ける命令書であり、爵位や俸禄、尊号、諡号などを授ける時の命令書である。この場合官に命じて祭祀を致し、帝からの神々に対する尊号を記した書を以って告げたことを意味する。この冊書こそ神蹟もしくは神譜・玉譜である。この背景には、紹平三年(1436)には審刑院使兼禮部尚書陶公僕・内密院副使阮叔惠を明に遣わし安南国王の封を求めている。そのためには安南国の神祇をも祭祀体制化に置くことが求められたものと思われる。その努力が実ってか、翌紹平四年(1437)正月には、安南国王に封ぜら

れている。二月には天下各地の神祠に封を加え、官に命じて祭祀を致している⁽²⁵⁾。このような、明代祭祀制度の導入を図ろうとした中で、城隍神についての記述が史書に見られる。

すなわち、『全書』黎紀二 仁宗 大和七年(1449)に、「初立都大城隍神。及風雲雷雨壇。無祀鬼壇。以時祭祀。」とある。都大城隍神は、李朝では國都昇龍城隍大王、陳朝では保國鎮靈定邦城隍大王といわれたことは先述したが、「初めて都大城隍神を立てる」とあることは『粵甸幽靈集』の「銅鼓山主傳」や『嶺南摭怪列傳』の記事は神話であり、史実ではないことを示唆していると考えられるべきかとも思う。本稿で使用した『粵甸幽靈集』は東洋文庫蔵のものであり、フランスの極東学院蔵の写真版であり、ハノイのヴェトナム漢喃研究所蔵書 A.47の整理番号を持つものである。これには上述したように國子監司業阮文賢による『粵甸幽靈續集』が付いており、阮文賢は阮文質と考えられることから『粵甸幽靈集・續集』は阮文質により15世紀に編撰されたものであり、『大越史記全書』15巻とて洪徳10年(1479)に呉士連により黎の聖宗に献じられたもので、両書はほぼ同時代のものである。とするなら、『粵甸幽靈集』や『嶺南摭怪列傳』の記事は神話であり、後代になって創生された可能性が高いと考えるのが至当かと思う。これについて、『類誌』「祭告禳誓之禮」社稷壇に、「按古制唯有風師雨帥二位。唐始加以雷師。至明初復增以雲合为一壇。又立京都大城隍祠。皆前代所未嘗記者。黎初壇祠所祭。盖皆用明之典也。」とある。みな前代の未だかつて祀らざるところとある。加えて黎初の壇祠で祭るところは、けだしみな明の典を用いると、明代祭祀の導入を示している。要は都大城隍神祠は風雲雷雨壇、無祀鬼壇と共に1449年に始めて京昇龍城に立てられたと解されるということである。

無祀鬼壇については、『類誌』祭告禳誓之禮厲祭の項に、「黎仁尊大和七年(1449)。立無祀鬼壇。以辰祭祀。聖尊光順五年(1464)。定厲

祭牲醴物。分上下中三等。並依百礼神品。歳命府官三辰致祭。著為成例。」とあり、祀典に上せていないものでも祟りや災いを為すことの無いように祭祀を行ったということである。この祀典に含まれぬ鬼となって祟りや災いを行う人格神は、「民に功無くして」祀られる「淫祀」ということになる。もし神祇の申請・認可制をそのまま実行するとすれば、各地に無数に所在する神の圧倒的多数は、淫祀にも拘らず神蹟を得るということとなる。明では洪武二年(1369)正月辛丑の詔勅で、祀典に与らぬ廟でも、かつて民に功績が有った事績が明らかであれば、祀典に著けられていなくともその祠を淫祀として撤去する必要はないことが宣布された。つまり、明の典が用いられたということは、同様にしてヴェトナム全土の無数の祠廟がことごとく残存し、神蹟・神譜・玉譜等を手にする法的根拠を得たことになる。

黎朝礼部官僚も無数の祠廟を祀るわけにも行かずに限定しようと試みたように思われる。すなわち、『類誌』「祭告禳誓之禮」百神祭の項に、「黎神尊慶徳四年(1652)、定春祭禮物例。令上下中等諸祠。或一總二總或干社。應祭一祠。縣官轉送社民預先買卞牛羊豕。對盤各物。……」とあり、諸祠を上・中・下等の3つに分けて⁽²⁶⁾春の祭礼の供物などの例を定め⁽²⁷⁾る傍ら、1～2總、あるいは幾つかの社で一祠を祀るようにしようとしたものと推われる。17世紀半ばにおいて、このような定めを出さなければならぬことを考えれば、実態としては民や国家への何の功績もない淫祀が他所の功績や靈応陰扶の著しい神の事績を写したり偽造して申請すれば、祭礼の禮物付きで認可されることとなったのではないだろうか。

春祭の禮物規定だけで、上等祠なら礼物古銭八貫八百二十文。中等祠なら礼物古銭二貫四百五十四文。下等祠なら礼物古銭一貫四百三十三文と記されていることから、文字通りに施行されたなら村落としては都合のよい話である。この祭礼の礼物規定の運用と香火田の関係等につ

いては後考を俟つ。

現在、ヴェトナム漢喃研究院が所蔵する神蹟は560冊あり、この神蹟に411冊の神敕に著された神名を加えると、4577種の神名がある⁽²⁸⁾。1神1祠というわけではなく、2神や3神、時には5神が1祠に祀られていることもあるが、後のフランス極東学院の神蹟調査が2026社村から収集したものであることを考えると2000祠廟は越えるものと思われる。

5. 神蹟に記されている神名の中に「城隍」を含む神の分析

これまで見てきたように、ヴェトナムにおける明代祭祀制度の導入が15世紀に本格化したとするなら、その冊封にあたって封ぜられた神号は神蹟として各祠廟で大切に保管されていたものと思われる。この資料の多くは、阮朝期に清代祭祀制の影響を受けた神蹟を一部含むかもしれないが、1938年から始まるフランス極東学院の調査により22省2026社村より収集されたAEという整理番号をもった神蹟の写本として残っている。ヴェトナム漢喃研究院は、所蔵する560冊の神蹟の目録を『漢喃遺産』(DI SAN HAN NOM VIET NAM thu muc de yeu, CATALOGUE DES LIVRES EN HAN NOM)として公開している。この書目とこの書目を元に主題ごとに検索できるようにヴェトナム漢喃研究院のウェブサイト上の『漢喃遺産』(DI SAN HAN NOM VIET NAM)を利用して560冊の神蹟に記されている神名の中に「城隍」という語が使われている神を網羅的に調べた結果が表2であり、227の城隍神が確認できる。ただ、560冊全ての神蹟に記された神の名を調べたものではなく、書誌学の成果の引用であり、神蹟それぞれの解説にも些かながら濃淡がある。それでも、大方の傾向は把握できるものと考え、予備的考察とした所以でもある。

(1) 「城隍」を神名にもつ227神位の省別分布について

表2の、「城隍」を神名にもつ神位を取めてある神蹟の在所を省別にまとめたものが表3の「ヴェトナムの「城隍」神数の省別一覧」である。この表より明らかなことは、城隍神が全土に分布しているのではないということと、分布が見られる省でも、その数に大きな差があるという点である。

まず、城隍が分布しない省は北江、諒山、広安、海防、太原、永安、宣光、河内ということで、河内は昇竜城に都大城隍が祀られていることより、總社村レベルにはないと考えれば、後は基本的には山岳部で紅河以北と考えられよう。逆に言えば、太平・北寧を例外として紅河以南の沿岸部からデルタ平野部を中心とした分布を示しているといえよう。

次に、省により分布数に大きな差が有る。清化省だけで47神位全体の20%を占めている。黎朝が清化勢力を中心に建国されたことに関係するものと思われる。また、紅河を中心とした隣接する省に分布が見られることから河川交通との関係を想起させる。

また、省による神蹟の冊数が異なることより、神蹟一冊当たりの城隍神の出現数を見たところ、北寧2.9、清化2.76、海陽2.6、福安2.33、河東2.18となっており、ハノイ周辺と清化・南冊勢力の関係⁽²⁹⁾を窺わせる。筆者は清化・南冊勢力の功臣が城隍神として祀られた結果と推測している。後考を俟つ。

(2) 城隍神の中の神名の分析

① 人格神か天神か

表2の神名に記載されている内容を〇〇公、〇〇公主、〇〇娘や、人名と思われるものと、城隍〇〇大王、〇〇神、などに分類整理したものが表の4-1である。1城隍祠に複数の神位が祀られていることがあるため、小計は227の城隍数を超えている。中でも公は98、人名と思われるものが27、公主が2、娘が7。都合人格

神と考えられるものが134。56.3%は人格神と見なすことができる。中でも清化・海陽・太平と北寧で83人の公が城隍神となっている。清化・南冊勢力の関係を窺わせるものである。その他の中でも、明らかに天神と思われるものは城隍〇〇大王10を含めて29。12.2%にすぎない。

また、人格神が過半を占めて祀られていることから、「明の洪武三年六月に、嶽鎮・海瀆と城隍各神の称号の改正が行われ、(中略)完全に非人格的な城隍神の規定が出現するに至った。⁽³⁰⁾」との明の改制はヴェトナムには及んでいないことが知れる。明典の導入による祭祀制度の構築によりヴェトナム皇帝の公的な支配という原理よりも、清化・南冊勢力の私的な利害を保持したということができよう。

② 當境城隍か本境城隍か大都城隍か

表2の神名に記載されている神名補記としてまとめた内容を當境城隍か本境城隍か大都城隍かで分類整理したものが表の4-2である。これより明らかなように、當境城隍が123神位。54.2%、本境城隍が56神位。24.7%を占める。ともに當境・本境とあることから明らかなように、一定領域の冥界の管理者であり守護神であると解しうる。

また、大都城隍〇〇大王が5ヶ所で祭られているが、本来「大都城隍」とは元の都であった大都で祀られた城隍をさすが、ヴェトナムでは都大城隍が変じて大都城隍となされたと思われる。

(3) 城隍神の撰・抄録年別の分析

表2の神位についての神蹟の撰もしくは抄録を年代順に整理し、撰者もしくは抄録者の明らかなものは併記したものが表の5である。

これより明らかなことは、1572年(黎の英宗洪福元年)礼部翰林院東閣大學士 阮炳による撰に集中していることである。227位の城隍神のうち167位、73.6%がこの年に阮炳によって撰せられたものである。年代不詳の38例を除くと、88.4%となる。

この1572年という歳は、「片方の混乱（たとえば七〇年の鄭検の死とその相続をめぐる鄭松と鄭檜の抗争、鄭檜の莫氏への亡命、鄭松による英宗弑殺（1572年）など）にもう片方がつけ込んで攻勢を強めるが補給の問題で長続きしないということが繰り返される。またこの時代に頻繁に見られるのが、双方向への帰参、逆行行為である。両政権に参加する者にとっては、莫氏・黎氏とも自己を正統と自認するにもかかわらず、さほどの効力が無かったことが窺える⁽³¹⁾。」との状況下にあった。英宗弑殺（1572年）などにより危機感を募らせたために、百神の霊応陰扶を意図してのこととも推測しえる。後考を俟つ。

もう一つ気になる点は、阮賢の撰もしくは抄になるものが18世紀に6例、年代不詳のものが2例、1555年に1例見られることである。上述したように阮賢は『粵甸幽霊續集』を著した國子監司業の地位にいた人物である。この阮文賢が阮文質のことであるなら、阮文質は太和六年（1448）27歳にして進士及第し聖宗期に活躍した人物である。年代不詳の2例を別にしても7例は後代の人が阮質を騙ったとしか思えない。ちなみに、河東省懷徳府慈廉縣驛望中望に祀られている「城隍朱里大王玉譜古籙」の文末にも「永祐五年（1739年）仲秋吉日 管監百神知殿 雄嶺少卿 臣 阮賢（Nguyen Hien）奉抄」と記されている⁽³²⁾。上述したように、実態としては民や国家への何の功績もない淫祠が他所の功績や霊応陰扶の著しい神の事績を写したり偽造して申請した結果のことではなかろうか。阮賢の名が記されている9例の内5例は河東省に、2例が太平に集中している。

阮炳、阮賢の他には、1472年に阮金安、1572年？に阮徳寛、1740年に黎嵩が撰している。

また、莫氏が帝位を篡奪した1527年から、鄭松が莫茂洽を殺害した65年間に172の神蹟が撰もしくは記されている。撰せられた年代不詳を引いた91%がこの莫氏政権によるものである。帝位篡奪の動揺を収斂させるためにも、冥界の

管理者である城隍の制度化を図り、冥界の支配を確立・継続使用としたものと思われる。17世紀には1件の撰・抄録が見られないことも、北部の混乱を物語っている。

おわりに

本小稿は、ヴェトナムにおける城隍信仰には、中国で使われる「都市の守護神」としての解釈と、ヴェトナムの村落の土神の総称に近い解釈とがあり、前者の理解は、神話上では9世紀までさかのぼることができる李の太祖の銅鼓山神との盟誓の下に都大城隍として祀られてきたことに始まる。都大城隍神が京師にあって帝の祭祀対象となったのは黎の仁宗の大和七年（1449）に始まる。すべての省レベルで祀られるようになるのは阮朝を待たねばならなかった。では、後者のヴェトナム村落に祀られる神々の多くを城隍と言うようになったのは何時ごろからでありそれは何故なのであろうか。屬明期に明の祭祀制度の影響を受け、黎の太宗の紹平二年（1435）に、明の典に習って祀典に上せられた天下の神祇を遍く祭らせたということから始まる。祀典に著すには神の申請・認可制度がヴェトナムでも行われ、併せて認可した神には、官に命じて祭りを致し、帝からの神々に対する尊号を記した書を以って告げた。この冊書こそ神蹟もしくは神譜・玉譜である。この背景には、安南国王の封を求め、神祇をも祭祀体制化に置くことが求められたものと思われる。この結果、土神も城隍神として拡大解釈される余地が生まれたものと思われる。無祀鬼壇も祀られるようになり、祀典に与らない祠や廟でも、かつて民や地域に功績があったり、皇帝の遠征に陰助があったりする事績が明らかであれば、申請・認可され、各地の祠や廟に祀られる神祇を祭祀対象とする基準が緩和された。ヴェトナム村落の土神を城隍神とする理論的な基盤はここに見出される。この黎の太宗・仁宗期に次ぐ聖宗は、儒教を重んじ「乱神を語らず」と言う姿勢が強く、百神を封ずることは稀であっ

たように思う。

このような、状況や理念の変化にとらわれることなくヴェトナム漢喃学院が所蔵している神蹟560冊に記されている神名の中に城隍の名を持つものを挙げると227神位を挙げることができる。この227神位を神蹟の省別分布や神名から分析すると、清化・南冊勢力を中心に〇〇公といった人格神が多いことが知られる。このことは、城隍神祭祀の中にあっても黎氏の出身母体となった清化・南冊集団に対する報償として城隍追認が多くなっていることをうかがわせる。功臣への賜与田土が一代限りのものであっても、功臣が神となれば、その神の祭祀は毎年のもものとなる。地方村落の城隍神といえども靈域を持ち靈応陰扶により冥界の管理者としての機能を担っていたものと思われる。

聖宗後の黎朝の衰退、混乱・抗争の中で莫氏政権の慰霊・懐柔策として神蹟乱発は阮炳によって集中的に一括登録と言っても過言で無いようなやり方で施行された。城隍神として祀られた理由は、「陰扶」が中核かと思われる。中国明代祭祀制度の具体的な府県レベルでの適応・確立は阮朝になって始めて行政ヒエラルヒーに対応して、階層性を準備したが、政治的な混乱の中で17世紀には1件の神蹟を封ずることも無く、民間道教信仰の影響を受けながら土俗化が進んだ結果、ヴェトナムの村落における土神の総称としての城隍神という解釈が成立したものである。

なお、タ・チ・ダイ・チュオン (Ta Chi Dai Truong) は「1496年の決定が多くの起源を持つ城隍神を集めた。⁽³³⁾」としているが、この1496年の令なるものを史書の中では確認できなかった。今後の課題の一つとしたい。

最後に、本稿はヴェトナムにおける城隍解釈の揺らめきから、作業仮説として、まず神名の中に城隍と記されているものを抽出するという作業を通して城隍の特性を明らかにしようとしたが、城隍と記されていない神位の中にも、古くから村民にとって守護神としての城隍という

信仰を伴った神位はありえるものと思う。その意味でも本稿は予備的な考察である。それでも1572年に阮炳によって祀典に一括登録されたものがほとんどであり、その多くは人格神であり、一括登録の时期的な集中は1449年の都大城隍神の設置と併せ考えると、15世紀半ば黎の仁宗が明の祭祀制度を導入し始めたころから城隍神への信仰が祭祀制度の中に位置づけられたものと思う。逆に言うと、それ以前の神話に登る城隍信仰は、祭祀制度の中に組み込まれた城隍としてではなく、個別の靈応陰扶への信仰を野史から収集して『粵甸幽靈集』などに15世紀末以降にまとめたものと分けて考えるべきかと思う。1572年を中心に城隍以外の天神や人格神も祀典である朝廷の神祠台帳に一括登録されていると思われることから、莫氏の支配の正統性を整えるために村落レベルにおける神々の慰霊・懐柔・支配を具体化した1572年の祭祀制度の確立が、城隍神信仰を固定化し、その後、神蹟を撰した者に明らかな时期的な混乱が見られることから窺われるように、人口の増加や分村に伴ってか神蹟の筆写、もしくはローマ字表記されたヴェトナム語であるクォック・グウによる伝承の記述が行われ、その結果1938年のフランス極東学院による村落における民間信仰の祭祀に関する悉皆調査に見られるような膨大な「祀典に登録されていない神位」が増え、定着したものと思われる。その過程で、守護神としての性格を持つ村落の鎮守の神が、あげて城隍と解釈されるようになったものと推察する。

なお、この推察は15・16世紀以前のヴェトナムにおける中国人移民やその末裔が城隍を信仰の対象としていたことを否定するものでないことは言うまでもないことである。

表1 粵甸幽靈集 (東洋文庫蔵版)

	同書中のタイトル名	生前の名	重興元年以前の名 1285年以前の名	重興元年の勅令による名 1285年の勅令により得た名	重興4年に加えられた名 1288年に左の名に加えられた名	興隆21年に加えられた名 1313年に更に加えられた名
1	歴代人君 附皇妃	士燮	士王・士王仙	嘉應大王	善感	靈武
2	嘉應善感靈武大王	馮興	布蓋大王	孚祐大王	彰信	崇義
3	布蓋孚祐彰信崇義大王	趙光復	趙越王	明道皇帝	開基	聖烈神武
4	明道開基聖烈神武皇帝	李佛子	後李南帝	英烈皇帝	仁孝	欽明聖武
5	英烈仁孝欽明聖武皇帝	后稷	靈貞二夫人	社稷司帝君	天祖社稷帝君	地主
6	天祖地主社稷帝君	徵側・徵貳	協正娘	協正佑善夫人	威烈夫人・敬勝夫人	純貞・保順
7	徵聖王	媚醜			貞烈	真猛
8	歴代人臣 威明勇烈顯忠佐聖孚祐 大王	光	威明勇烈大王	威明勇烈顯忠大王	佐聖	孚祐
9	校尉英烈威猛輔信大王	李翁仲	輔國太尉	英烈王	威猛	輔信
10	太尉忠輔勇武威勝公	李常傑	國都昇龍城隍大王	忠輔公	勇武	威勝
11	保國鎮靈定邦城隍大王	蘇百	洪聖	保國國都昇龍城隍大王	鎮靈	定邦
12	洪聖佐治大王	范巨倆	都統上將軍	洪聖匡國	忠武	佐治
13	都統匡國王	黎奉暎	太尉	都統王	匡國	佐聖
14	太尉忠惠公	穆慎	大當江都護國神	忠惠公	武亮	
15	却敵威敵二大王	張畔・張喝	王・小當江都護國 神王	却敵大王・威敵大王	善祐・勇敢	助順・顯勝
16	証安佑國王	李服蠻	証安國公	証安王	明應	佑國
17	回天忠烈王	(李都尉)	回天神王	回天忠烈神王	威武	助順
18	果毅剛正王 浩氣英靈	高魯	果毅王	果毅王	剛正	威惠
19	應天化育元君	(南國地祇)	后土地祇夫人	后土地祇夫人	元忠	應天化育
20	廣利大王	(龍度王氣之 君)	廣利大王	廣利聖佑大王	威濟	孚威大王

21	盟主昭感大王	(銅鼓山神)	(天下主盟福神)	靈應大王	靈應大王 開元威靈大王 勇烈大王 佑聖王	昭感 隆著 昭應 匡國 忠輔 武輔 靈應 靈通	保佑 忠武 威信 顯應 鎮國 威顯 彰武 惠信
22	開元威顯大王	(天神)					
23	冲天威信大王	(土神)					
24	佑聖顯應王	(山精)					
25	開天鎮國大王	(藤州土神)	開天城隍大王				
26	忠翊威顯大王	(土令長)		忠翊王			
27	善護國公	(海濟郡王 神)		善護國公			
28	利濟通靈王	(火龍之精) 鄧洪明・鄧善 射	神珠龍君	利濟龍王			
29	粵甸靈集續集 朔天王	國子監司業 阮文賢 著 朔天王					
30	青山大王	(三島山神)					
31	乾海門尊神	(南宋朝公 主)					
32	管家都博大王	(永寧路土酋 官邸)鄭加・ 鄭秀・鄭氏巴					

表2 ヴェトナム ハン・ノム研究院蔵の神蹟中、「城隍」の名を持つ神名一覧

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
1	北寧省嘉平縣各社神蹟		高壽・高柱		Uy Công 威公, Thông Công 通公 và Canh Công 耿公 thời Lý Thái Tổ	Bản Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 本境城隍大王	1572年 阮炳の撰
2	北寧省嘉平縣各社神蹟第二冊	春來	富壽		Hiền Công 顯公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
3		春來	富壽		Phuong Nương 芳娘	Bản Cảnh Thành Hoàng... Phi Nhân 本境城隍... 妃仁	1572年 阮炳の撰
4	北寧省嘉林縣各社神蹟		多遜		Không Thuyền Công 空船公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
5	北寧省良才縣各社神蹟		美裔		Cự Công 巨公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, thời Lê Đại Hành,	1572年 阮炳の撰
6			美裔		Nguyệt Vị Nương 月位娘, Bảo An Nương 寶安娘, Cung phi của Duệ Tông (?)	Bản Cảnh Thành Hoàng... Phu Nhân 本境城隍... 夫人	1572年 阮炳の撰
7			香芝		Đà Công 陀公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Trịnh Đà Đại Vương 當境城隍 鄭陀大王	1736年 阮賢の抄
8			翻(郡)溪:		Hải Công 海公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
9	北寧省郎才縣破浪總各社神蹟		陶川		Ngài Công 礙公 (Sau đổi tên là Hộ 護), thời Lý Nam Đế	Thống Đốc Quân Chế Đô Thành Hoàng... Đại Vương 統督管制 都城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
10			易使・道使		Ngọc Công 玉公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王, thời Lý.	1572年 阮炳の撰
11	北寧省仙遊縣內裔總各社神蹟	福翠	內裔東		Nôn Công 蔽公, thời Hùng Hiền Vương	được phong Thành Hoàng	1572年 阮炳の撰
12			內裔:	亭奇	Ban Công 班公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
13			內裔:	亭奇	Hồng Nương	Bản Cảnh Thành Hoàng... Công Chúa 本境城隍... 公主, thời Lý Thái Tông.	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
14			拜淵		Hải Công 海公, tức Đoàn Thượng 段上	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đông Hải Đại Vương 本境城隍東海... 大王, thời Lý	1572年 阮炳の撰
15	北寧省仙遊縣內圓總各社神蹟		香雲		Hiền Công 顯公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn... Thượng Đẳng Thần 當境城隍高山... 上等神, thời Tống	1572年 阮炳の撰
16			香雲		Minh Công 明公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
17			香雲		Diệu Nương 妙娘	Bản Cảnh Thành Hoàng... Công Chúa 本境城隍... 公主, thời Lý Thái Tông	1572年 阮炳の撰
18			儂舍		thành hoàng có mỹ tự là Linh Ứng 靈應	Đương Cảnh Thành Hoàng Linh Ứng... Địa Vương 當境城隍靈應... 大王, ở miếu trang Tiên Xá	1572年 阮炳の撰
19			儂舍		Tiếp Công 捷公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Thượng Đẳng Thần 當境城隍... 上等神, thời Lê Đại Hành	1572年 阮炳の撰
20			春會		Phúc thần (không rõ tên) ở miếu bản xã, từng âm phù vua Lý đánh quân Chiêm Thành.	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
21	北寧省仙遊縣受福總各社村神蹟		重光	福廠	Tiếp Công 捷公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王, thời 12 Sứ quân	1572年 阮炳の撰
22			高亭		Đống Vinh 凍榮	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn... Đông Vương 本境城隍高山凍榮... 大王	1572年 阮炳の撰
23			高亭		Minh Công 明公	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn... Quý Minh... Đại Vương 本境城隍高山貴明... 大王	1572年 阮炳の撰
24			高亭		Phúc Công 福公	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn... Phúc Hưng... Đại Vương 本境城隍高山福興... 大王, thời Lê.	1572年 阮炳の撰
25	北寧省慈山府東岸縣會阜總各社村神蹟		東岸	北棊村 下甲	Bảo Công 保公	Đương Cảnh Thành Hoàng Bảo Trung... Đại Vương 當境城隍保忠... 大王	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
26			東岸	北棗村 下甲	Mỹ Công 美公	Đương Cảnh Thành Hoàng Minh Khiết... Đại Vương 當境城隍明潔... 大王, thời Lý Nam Đê từng âm phủ Lê Đại Hành đánh quân Tống.	1572年 阮炳の撰
27	北寧省文江縣春球 總各社村神蹟		永安	虞芮	Đại Công 大公	Bản Cảnh Thành Hoàng Đô Đại Tướng Công... Phúc Thần 本境城隍都大將公... 福神, thời Lê Đại Hành	1572年 阮炳の撰
28	北寧省宇江縣克念 杜舍總各社神蹟		春雷		Uy Công 威公 và Tuấn Công 峻公, hai trong số 100 người con trai của Lạc Long Quân và Âu Cơ, từng hiệp sức với Phù Đổng Thiên Vương 扶董天王 đánh giặc Ân	được gia phong là Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
29		杜舍	壽寧		Uy Minh Vương 威明王	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
30	河東省彰美縣各社 神蹟		祝山		Cương Chính Công 剛正公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cương Chính... Đại Vương 當境城隍剛正... 大王, triều Hùng	1572年 阮炳の撰
31	河東省彰美縣各社 神蹟		進恩		3 vị thần triều Đinh: Đổng Thỉnh... Đại Vương 凍聽... 大王; Chiêu Pháp... Đại Vương 昭法... 大王	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
32	河東省懷德府慈廉 縣驛望總各社村神蹟		驛望前		Lý Bảo Ninh 李保寧	Thành Hoàng Đại Vương 城隍大王	1572年 阮炳の撰
33			義都		Trần Bích 陳辟	Đương Cảnh Thành Hoàng Ngũ Lục Bích Hiến Ứng... Đại Vương 當境城隍五六辟顯應... 大王	1572年 阮炳の撰
34			兌門		Trần Đổ 陳賭	Đương Cảnh Thành Hoàng Phò Mã Đại Tướng Quân... Đại Vương 當境城隍扶馬大將軍... 大王, triều Lý	1572年 阮炳の撰
35	河東省懷德府慈廉 縣羅內總各社神蹟		羅內・綺羅		3 vị thần triều Hùng	Đương Cảnh Thành Hoàng Đô Đốc Linh Ứng Đại Vương 當境城隍都督靈應大王	1572年 阮炳の撰

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
36	河東省懷德府慈廉縣芳梗總各社神蹟		富美		Đại Đô Thành Hoàng Quốc Vương Thiên Tử Đại Vương 都城隍國王天子大王		
37			富美		Thành Hoàng Diêm La Phật Tử Đại Vương 城隍閻羅佛子大王		
38			仁美		Đại Đô Thành Hoàng Quốc Vương Thiên Tử... Đại Vương 都城隍國王天子...大王		
39			仁美			Bản Cảnh Thành Hoàng Đỗ Tam Lang Đại Tướng Quân Tuấn Triết... Đại Vương 本境城隍杜三郎大將軍峻哲...大王	
40	河東省富川縣黃中知止二總各社神蹟	黃中	黃東		Tô Lịch 蘇瀝	Quốc Đô Thành Hoàng Đại Vương 國都城隍大王	
41	河東省富川縣常川總各社神蹟		郎黃		Đại Đô Thành Hoàng... Đại Vương 大都城隍...大王		
42			慈順		4 vị thần đời Lê		1573年の撰
43			慈順			Thổ Thành Hoàng Bình Lý... Thần 土城隍兵裡...神	
44	河東省富川縣蛇球總各社村神蹟		富良	保・貝		Đương Cảnh Thành Hoàng Tả Cao Sơn... Đại Vương 當境城隍左高山...大王, triều Hùng	1572年 阮炳の撰
45			富良	保・貝		Đương Cảnh Thành Hoàng Minh Lang Bảo Cảnh... Đại Vương 當境城隍明郎保境...大王, triều Hùng.	1572年 阮炳の撰
46	河東省池縣古典總各社神蹟第三冊		贊宮		2 vị thần triều Hùng	Thành Hoàng Danh Thần Bảo Quốc Hộ Dân... Đại Vương 城隍名臣保國護民...大王	
47						Thành Hoàng Danh Tướng Duệ Triết... Đại Vương 城隍名將睿哲...大王	
48	河東省池縣寧舍社神蹟		寧舍		Châu Pháp 鄒法	Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 當境城隍大王	

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
49	河東省池縣永寧總各社神蹟第十冊		永盛			Đương Cảnh Thành Hoàng Xã Thần Đại Vương 當境城隍射神大王, thời Trần	1572年 阮炳の撰
50	河東省常信府上福縣古賢總各社神蹟		上亭	三	Cao Lỗ 皋魯	Thạch Thành Hoàng Đại Vương 石城隍大王, triều Hùng	
51	河東省常信府上福縣東兜總各社神蹟		永慕		Nguyễn Bình 阮平	Bản Quán Thành Hoàng Hiến Ứng Linh Chương Tôn Thần 本貫城隍顯靈彰尊神, thời 12 sứ quân	1572年 阮炳の撰
52	河東省應和府山郎縣沉弄總各社神蹟		貢溪		2 vị thần triều Lê	Đương Cảnh Thành Hoàng Thái Giám Cảm Ứng... Đại Vương 當境城隍太監感應...大王	1735年 阮賢の記
53	河東省應和府山郎縣大貝總各社神蹟		關寺		2 vị thần triều Lý	Bản Quốc Đương Cảnh Thành Hoàng Trung Thành Chấn Quốc... Đại Vương 本國當境城隍忠誠振國...大王	1555年? 阮賢の撰
54			攸同		2 vị thần triều Lý	Bản Quốc Đương Cảnh Thành Hoàng Yên Ứng Tá Hưu... Đại Vương 本國當境城隍偃應佐佑...大王	1735年 阮賢の撰
55						Bản Quốc Đương Cảnh Thành Hoàng Uy Linh Phổ Hóa... Đại Vương 本國當境城隍威靈普化...大王	1735年 阮賢の撰
56			壽域		SI Nhiếp 士燮	Đương Cảnh Thành Hoàng Thánh Văn Thần Vũ... Sĩ Vương 當境城隍聖文神武...土王	1573年の記
57			五倫		3 vị thần triều Hùng	Đại Đô Thành Hoàng Trung Thành Đại Vương 大都城隍忠誠大王	
58						Đương Cảnh Thành Hoàng Uy Linh Thái Tử Minh Đức Đại Vương 當境城隍威靈太子明德大王	

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
59			金針		Dục Công 翊公	Đương Cảnh Thành Hoàng Dục Thánh Thượng Đấng Thần 當境城隍翊聖上等神, triều Hùng.	
60	AE.A2/52		清蔭		Mễ Minh Phúc 米明福	Thành Hoàng Hiến Linh Minh Ứng Thuận Phúc Đại Vương 城隍顯靈明應順福大王, triều Đinh	1572年 阮炳の撰
61			東陽		2 vị thần triều Hùng	Đương Cảnh Thành Hoàng Long Cung Linh Quang... Đại Vương 當境城隍龍宮靈光...大王	1572年 阮炳の撰
62						Đương Cảnh Thành Hoàng Nguyễn Soái Hùng Lược... Đại Vương 當境城隍龍元帥雄略...大王	1572年 阮炳の撰
63			梁舍		Thành Hoàng Lý Chính Công Đại Vương 城隍哩正公大王		
64					Thành Hoàng Linh Thông Đại Vương 城隍靈通大王		
65	AE.A2/56		棟隆		2 vị thần triều Hùng	Đương Cảnh Thành Hoàng Miêu Nha Đại Vực... Đại Vương 當境城隍苗茅大城...大王	1739年 阮賢の撰
66			安和		Tiếp Kỳ Đương Hương 接奇當鄉	Đương Cảnh Thành Hoàng Hùng Trấn Uy Linh... Đại Vương, triều Lý	聖宗17 (1476) 年の撰
67	AE.A13/4		排禮		Thành Hoàng Tuấn Triết... Đại Vương 城隍俊哲...大王	Thành Hoàng Thánh Hóa. Minh Đức Đại Vương 城隍聖化...明德大王, triều Hùng Vương	1572年 阮炳の撰
68	AE.A13/2		惇良		Đình Thành Hoàng Bàng Công Đại Vương 丁城隍榜公大王		
69	AE.A13/6		魯河		Trang Công 莊公	Trang Chính Tinh Đức Thành Hoàng Trang Hiến Đại Vương 莊正靖德城隍莊憲大王	
70	AE.A13/7		隊嶺		Cáo Công 杲公	Đương Cảnh Thành Hoàng Thái Bảo Tản Quốc Đại Vương 當境城隍太保鎮國大王	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
82			永頼		Cam Công 感公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cam Úng... Đại Vương 當境城隍感應... 大王	1572年 阮炳の撰
83					Úng Công 應公	Đương Cảnh Thành Hoàng Úng Diên... Đại Vương 當境城隍應筵... 大王, thời Hùng Duệ Vương	1572年 阮炳の撰
84			安頼		Bảo Quốc 保國	Đại Đô Thành Hoàng... Đại Vương 大都城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
85			安頼		Hùng Kiệt 雄傑	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, thời Hùng Huy Vương	1572年 阮炳の撰
86	海陽省嘉祿縣各社神蹟第二冊		杜川		Trung Công 忠公	Đương Cảnh Thành Hoàng Uy Hùng Đại Vương 當境城隍威雄大王	1572年 阮炳の撰
87					Chính Công 正公	Đương Cảnh Thành Hoàng Thị Lang Đại Vương 當境城隍侍郎大王, thời Lý Thái Tông	1572年 阮炳の撰
88	海陽省嘉祿縣芳舍總各社神蹟	芳舍	芳舍		Minh Công 明公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王, thời Tiền Lý	1737年 阮賢の撰
89		厚俸	安居		Bát Báo 撥暴	Đương Cảnh Thành Hoàng Bát Báo Đại Vương 當境城隍撥暴大王, thời Đinh Tiên Hoàng	1572年 阮炳の撰
90	海陽省金成縣扶載總各社神蹟	扶載	養蒙			Đương Cảnh Thành Hoàng Thần Tế... Đại Vương 當境城隍濟... 大王	1572年 阮炳の撰
91						Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 當境城隍大王	1572年 阮炳の撰
92						Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Lễ... Đại Vương 當境城隍大禮... 大王	1572年 阮炳の撰
93						Đương Cảnh Thành Hoàng Nam Nghĩa Đại Vương 當境城隍南義大王, thời Trần Anh Tông	1572年 阮炳の撰

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記	補記
94		扶載	海寧		Xuân Công 春公	Đương Cảnh Thành Hoàng Từ Tế Đại Vương 當境城隍慈濟大王	1572年	阮炳の撰
95					Tiến Công 進公	Đương Cảnh Thành Hoàng Quý Minh Đại Vương 當境城隍貴明大王	1572年	阮炳の撰
96					Trình Công 程公	Đương Cảnh Thành Hoàng Ngũ Trung Đại Vương 當境城隍偽忠大王	1572年	阮炳の撰
97					Hồng Nương 紅娘	Đương Cảnh Thành Hoàng Lợi Dụng... Công Chúa 當境城隍利用... 公主, 時利	1572年	阮炳の撰
98	海陽省南策府神蹟	卓洲	玉淵		Dương Công 楊公 và Quang Công 光公 時利 Đình Tiên Hoàng	được gia phong Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 當境城隍大王	1572年	阮炳の撰
99	海陽省青河縣遊羅總各社神蹟		文藻		Hiên Công 軒公	Bản Thổ Thành Hoàng... Đại Vương 本土城隍... 大王, 時利 Lý Nam Đê	1572年	阮炳の撰
100			金竿		Tê Công 濟公	Đương Cảnh Thành Hoàng Quảng Tế... Đại Vương 當境城隍廣濟... 大王	1572年	阮炳の撰
101					Nghiệp Công 業公	Bản Thổ Thành Hoàng Quảng Nghiệp... Đại Vương 本土城隍廣業大王	1572年	阮炳の撰
102					Pháp Công 法公	Bản Thổ Thành Hoàng Y Pháp... Đại Vương 本土城隍依法... 大王, 時利 Lý Nam Đê	1572年	阮炳の撰
103			標舍		Hoàng Công 弘公	Đương Cảnh Thành Hoàng Phúc Thần 當境城隍... 福神, 時利 Đình Tiên Hoàng	1572年	阮炳の撰
104	海陽省青河縣及一總及一社神蹟	及一	及一		Hoàng Công 弘公	Đương Cảnh Thành Hoàng Hồng Liệt Thượng Đàng Phúc Thần 當境城隍弘烈... 上等福神	1572年	阮炳の撰
105					Lại Công 吏公	Đương Cảnh Thành Hoàng Tướng Lại Thượng Đàng Phúc Thần 當境城隍將吏... 上等福神, 時利 Lê Đại Hành	1572年	阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
106 AE.A6/18	海陽省青河縣遊羅總各社神蹟	遊羅	芳羅		Uy Công 威公, Trung Công 中智公 và Trí Công 智公 thời Đinh	được gia phong Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 當境城隍大王	1572年 阮炳の撰
107 AE.A6/21	海陽省青河縣下永總下永社神蹟	下永	下永		Chân Công 真公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍...大王	1572年 阮炳の撰
108					Trí Công 智公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương, thời Đinh Tiên Hoàng	1572年 阮炳の撰
109 AE.A6/25	海陽省四岐縣各總社村神蹟	墨舍	萬載	上	Xuân Công 椿公	Bản Phủ Thành Hoàng... Đại Vương 本府城隍...大王, thời Lê Trương Dực	1572年 阮炳の撰
110			萬載	竹文	Cao Sơn 高山	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍...大王	1572年 阮炳の撰
111					Quý Minh 貴明	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍...大王, thời Hùng Duệ Vương	1572年 阮炳の撰
112		玉林	羅舍	同平		Bản Cảnh Thành Hoàng Chàng Nữ Nhị Đại Vương 本境城隍撞杵大王, âm phủ Lê Đại Hành đánh giặc	1572年 阮炳の撰
113			羅舍		Thành Hoàng Đón Ngưng Chi Thần 城隍敦凝之神, phù giúp Trưng Nữ Vương đánh Tô Định		1572年 阮炳の撰
114 AE.A6/26	海陽省四岐縣各總各社村神蹟	安土	安牢	同骨	Cao Huân 高勳	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Huân 本境城隍高勳 顯應大王, thời Lý Anh Tông	1472年 阮金安の撰
115 AE.A6/24	海陽省四岐縣墨舍總各社村神蹟		段舍		Thiện Công 善公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍...大王, thời Hán Thuận Đế	1572年 阮炳の撰
116 AE.A2/29	環龍蠶舍社神蹟		蠶舍		4 vị thần triều Hùng	Bản Cảnh Thành Hoàng Long Linh... Đại Vương 本境城隍龍靈...大王	1572年 阮炳の撰
117 AE.A3/2	興安省恩施縣各社神蹟		土黃		Bùi Hộ 裴護	Thành Hoàng Đại Vương 城隍大王, triều nhà Triệu	1572年 阮炳の撰

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

	記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名	補記	補記
118	AE.A3/13	興安省文林縣各社神蹟		俊異	二	3 vị thần triều Hùng	Thành Hoàng Phổ Hóa... Đại Vương 城隍普化... 大王	1572年	阮炳の撰
119	AE.A12/4	建安省安陽縣各總 瓊黃雙梅午陽務農 神蹟	務農	喻義		Tế Công 濟公	Đương Cảnh Thành Hoàng Thiên Tế Đại Vương 當境城隍善濟大王	1572年	阮炳の撰
120	AE.A12/24	建安省水源縣水秀 總各社神蹟		常山		Huân Công 訓公	Đương Cảnh Thành Hoàng Minh Quốc Thành Vũ Đại Vương 國成武大王上等神, triều Đình	1572年	阮炳の撰
121				水秀	玉芳	Quang Công 光公	Bản Cảnh Thành Hoàng Linh Ứng Đại Vương 本境城隍靈應大王	1572年	阮炳の撰
122						Nghiêm Công 嚴公	Đương Cảnh Thành Hoàng Quảng Độ Hiến Đức Đại Vương, triều Hùng Vương	1572年	阮炳の撰
123	AE.A12/26	建安省水源縣鄭舍 總各社神蹟		鄭舍		Hùng Công 雄公	Đường Cảnh Thành Hoàng Linh Quang Đại Vương 當境城隍靈光大王	1572年	阮炳の撰
124	AE.A12/14	建安省先郎縣錦溪 總各社神蹟		錦溪		Lý Tín 履信	Bản Cảnh Thành Hoàng Đô Thống Lĩnh... Đại Vương 本境城隍都統領... 大王	1572年	阮炳の撰
125	AE.A12/17	建安省先郎縣河帶 總各社神蹟		罷衙		Lang Công 榔公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cẩm Đào Lang Tương Đại Vương 當境城隍擒陶榔湘大王, triều Hùng Vương		
126	AE.A12/20	建安省先郎縣奇偉 總各社神蹟		奇偉			Đương Cảnh Thành Hoàng Từ Thánh Đại Vương 當境城隍慈聖大王, triều Hùng Vương	1572年	阮炳の撰
127	AE.B2/17	清化省雷陽縣金石 總郎洞上社神蹟		郎洞上	LucNon	Hiên Công 顯公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn... Thượng Đẳng Phúc Thần Đại Vương 當境城隍高山... 上等福神大王, người Bắc Quốc	保大6年 (1941) の抄	
128				大撓		Uy Công 威公	Bản Cảnh Thành Hoàng Giã Lam Linh Thông Hiến Ứng Đại Vương 本境城隍迺藍靈通顯應大王, công thần thời Lý Thái Tông	1572年	阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
129			果盛		Già Lam 迦藍	Đương Cảnh Thành Hoàng Già Lam... Thượng Đẳng Phúc Thần Đại Vương 當境城隍迦藍... 上等福神大王, từng âm phù Lê Thái Tông đánh giặc	1572年 阮炳の撰
130	建安省先朗縣富雞總各社神蹟		舊堆		Quang Công 光公	Đương Cảnh Thành Hoàng Linh Quang Chiêu Ứng Thượng Đẳng Phúc Thần 當境城隍靈光昭應上等福神	1572年 阮炳の撰
131	南定省美祿縣第一總第一社神蹟		第一		Trần Dững 陳踴	Dũng Dực Thần Long Thành Hoàng Đại Vương 踴躍神龍城隍大王, triều Hùng	1572年 阮炳の撰
132	南定省海後縣桂海總各社神蹟		重光		Hoàng Hậu nhà Tống, Trần Dững 陳踴	Dũng Dực Thần Long Thành Hoàng Đại Vương 踴躍神龍城隍大王, triều Hùng	
133	南定省務本縣同隊總各社神蹟		珠泊		Vũ Nghị 武毅	Đương Cảnh Thành Hoàng Vũ Nghị Đại Vương 當境城隍武毅大王	1572年 阮炳の撰
134	南定省務本縣顯慶總各社神蹟		賴舍		Hùng Thiên Đá 雄天	Thành Hoàng Thiên Đá Hộ Quốc Đại Vương 城隍天護國大王	1572年 阮炳の撰
135	乂安省興元府安長總各社神蹟		永安		Minh Uy Vương 明威王	Đương Cảnh Thành Hoàng Tam Tòa Đại Vương Thượng Đẳng Thần 當境城隍三座大王上等神, triều Lý.	
136	乂安省興元府都安總各社村神蹟	都安		金馬		Bản Cảnh Thành Hoàng Tôn Thần 本境城隍尊神	
137	乂安省興元府扶龍總各社村神蹟		楊舍		Cao Sơn Thành Hoàng Thượng Đẳng Thần 高山城隍上等神		
138					Đặng Ánh 鄧瑩	Bản Xứ Thành Hoàng Hùng Nghị Tôn Thần 本處城隍雄毅尊神	
139				龍川	Phan Quốc Hoa 潘國花	Bản Cảnh Thành Hoàng Uy Mục Đê Tôn Thần 本境城隍威穆帝尊神	

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
140 AE.A4/11	寧平省儒關府嘉遠縣聯輝總各社神蹟		聯輝			Đương Cảnh Thành Hoàng Kỳ Công Hộ Quốc Trung Đẳng Thần 當境城隍奇公護國中等神	1736年の抄
141 AE.A4/41	寧平省安談縣安謨總各社神蹟		安謨乾		Đồ Đại Thành Hoàng Tôn Thần 都大城隍尊神		
142 AE.A9/2	富壽省錦溪縣雕梁總石堤社神蹟		石堤		Đoan Lương 端良	Thành Hoàng Cư Sĩ Doan Lương... Đại Vương 城隍居士 端良... 大王	1572年 阮炳の撰
143 AE.A9/13	富壽省夏和縣文郎總各社神蹟		無爭		Tuấn Lương 俊良	Đương Cảnh Thành Hoàng Tuấn Lương Đại Vương 當境城隍俊良... 大王	1572年 阮炳の撰
144			無爭		Thần Tiên Công Chúa 神仙公主	Bản Cảnh Thành Hoàng Thần Tiên Công Chúa 本境城隍神仙... 公主, ở trang Vô Tranh âm phủ, nên đánh thắng được giặc Thực	1572年 阮炳の撰
145 AE.A9/12	富壽省夏和縣依山總清香社神蹟		清香		3 người con của Hùng Nghì Vương (chị ghì mỹ tự)	Thành Hoàng Đức Vua Bắc Sơn Đại Vương 城隍德 北山... 大王	1572年 阮炳の撰
146						Thành Hoàng Đức Vua Quang Sơn Đại Vương 城隍德 光山 大王	1572年 阮炳の撰
147						Thành Hoàng Linh Thần Hiến Ứng Đại Vương 城隍靈神顯應 大王	1572年 阮炳の撰
148 AE.A9/9	富壽省夏和縣安記總正功郡田二社神蹟		正功		Trần Thiên Cang 陳天罡	Đương Cảnh Thành Hoàng Thiên Cang Hiến Ứng... Đại Vương 當境城隍天罡顯應... 大王, công thần thời Hùng Duệ Vương	阮賢の抄
149 AE.A9/19	富壽省扶寧縣金陵總各社村神蹟		仙洲	春愛	3 vị thần	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, trang Tiên Châu phù giúp đánh quân Tô Định	1572年 阮炳の撰
150 AE.A9/32	富壽省三農縣易壽總各社神蹟		易壽		4 vị thần : Cao Sơn 高山, Quý Minh 貴明, Hiếu Lang 孝郎, Bạch Thạch 白石	Bản Cảnh Thành Hoàng hiệu Sơn Động 山洞	1740年 黎嵩の撰

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
151 AE.A9/42	富壽省青波縣青蚪 總安溪社神蹟		安溪			Đức Vua Đường Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 德 當境城 隍大王	1572年 阮炳の撰
152 AE.A11/3	福安省東英縣遵例 總各社神蹟		雲池			Nhị Vị Đường Cảnh Thành Hoàng... Hiên Ứng Anh Linh Đại Vương 二位當境城隍... 顯 應大王	1572年 阮炳の撰
153						Bản Cảnh Thành Hoàng Linh Ứng Đại Vương 本境城隍靈應 大王, triều Trưng Nữ Vương	1572年 阮炳の撰
154			古陽		Lý Bí 李賁	Bản Cảnh Thành Hoàng Đại Giới Linh Phù Chi Thần 本境城 隍大界靈扶之神, triều Lý	1572年 阮炳の撰
155 AE.A11/8	福安省安郎府夏雷 總各社神蹟		寥池		Thành Hoàng Hiên Đức Nhận Hòa Đại Vương Trung Đàng Phúc Thần 城隍賢德仁和大王 中等福神		1572年 阮炳の撰
156 AE.A11/12	福安省安郎府青林 總各社神蹟		林護			Bản Cảnh Thành Hoàng Điện Tiền Đô Chỉ Huy Sứ... Dương Cương Đại Vương 本境城隍殿 前都指揮使... 楊 大王	1572年 阮炳の撰
157						Bản Cảnh Thành Hoàng Nhân Hộ Từ Kính... Trinh Tinh Phu Nhân Đại Vương 本境城隍仁 惠慈敬... 貞淨夫人大王	1572年 阮炳の撰
158						Bản Cảnh Thành Hoàng Nhân Uyển Tư Phong Hủy Khánh Tôn Phu Nhân Đại Vương 本境城隍 嫻婉姿丰諱慶尊夫人大王	1572年 阮炳の撰
159 AE.A10/5	山西省福壽縣浮沙 總各社連沼清沼前 動神蹟		前動			Đường Cảnh Thành Hoàng... Thành Bà Thành Triết Đại Vương 當境城隍... 聖婆聖哲大王	景統2年 (1499) の 撰
160 AE.A10/11	山西省先豐縣青郎 總各社神蹟		羅品上		Tân Công 津公	Đường Cảnh Thành Hoàng Cương Nghị Thống Chế Tân Đại Vương 當境城隍剛毅統制 津大王, triều Hùng	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
161	山西省安山縣石炭總各社神蹟		石炭		Lý Uy Túc 李威肅	Thành Hoàng Uy Túc Tồi Linh Đại Vương Tôn Thần 城隍威肅最靈大王尊神	維新6年(1912)の抄
162			有班	挺秀	Thịnh Công 盛公	Thịnh Công Thành Hoàng Đại Vương 盛公城隍大王, triều Lý Nam Đế	1572年 阮柄の撰
163	山西省石室縣各社神蹟		竹洞			Bản Cảnh Thành Hoàng Giám Sát Đại Vương 本境城隍監察大王	
164			夏雷・朋疇		Cao Hưng 高興	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Hưng Linh Ứng Đại Vương 本境城隍高興靈應大王	1572年 阮柄の撰
165					Tuấn Tĩnh 俊靖	Bản Cảnh Thành Hoàng Tuấn Tĩnh Linh Ứng Đại Vương 本境城隍俊靖靈應大王	1572年 阮柄の撰
166					Trung Liệt 忠烈	Bản Cảnh Thành Hoàng Trung Liệt Linh Ứng Đại Vương 本境城隍忠烈靈應大王, triều Trung Vương	1572年 阮柄の撰
167	山西省安山縣不濫總各社神蹟		晴嵐	Độc Chàng	Tô Minh Tĩnh 蘇明靖	Bản Cảnh Thành Hoàng Tông Quốc Đại Vương 本境城隍宗國大王, triều Hùng	1572年 阮柄の撰
168	清化省壽春府不撓總各社村神蹟內附抄神敎		豐樂		Đạt Công 達公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍...大王, công thần thời Lê Anh Tông, từng giúp vua đánh nhà Mạc	1572年 阮柄の撰
169			孟諸		Tiến Sơn 進山, còn gọi là Chàng Gót	Đương Cảnh Thành Hoàng... Tồi Linh Thần Đại Vương 當境城隍...最靈神大王, từng ngầm giúp Lý Thái Tông đánh giặc	1572年 阮柄の撰
170			美里	下	Uy Công 威公	Đương Cảnh Thành Hoàng Giả Lam Thượng Đẳng Linh Thần Đại Vương 當境城隍迦藍上等靈神大王, công thần thời Lý Thái Tông	1572年 阮柄の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
171			美里	上	Thái Tử 太子, Thái Thích 太釋, và Lê Bá 例伯, từng âm phủ Lý Thái Tông 曾陰府李太宗	được phong Cảnh Thành Hoàng... Thượng Đẳng Phúc Thần 當境城隍... 上等福神	1572年 阮炳の撰
172	清化省東山縣布德總愛山社神蹟		愛山			vi Đương Cảnh Thành Hoàng 當境城隍, tên húy là Chiêu Hiền 昭賢 (có công âm phủ Lê Lợi đánh quân Minh. Về sau, vào thời Hồng Đức, Ngài cũng âm phủ Lê Thánh Tông đánh giặc)	1572年 阮炳の撰
173	清化省東山縣光照總各社村神蹟		光照	文波	Quý Công 貴公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, âm phò giúp Lê Thái Tổ đánh giặc Minh	1572年 阮炳の撰
174			光照	石室	Cao Sơn Đại Vương 高山大王	Có văn bia viết về Cao Sơn, đề năm Hồng Thuận 2 (1510); Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, không rõ danh tính	1572年 阮炳の撰
175			光照	照中	Cao Các 高閣	được phong Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
176	清化省壽春府南陽總各社神蹟			忠域上	Cao Biên 包駢	Đương Cảnh Thành Hoàng Cao Vương... Đại Vương 當境城隍 高山... 大王	1572年 阮炳の撰
177					Quan Sát 觀察	Đương Cảnh Thành Hoàng Quan Sát... Đại Vương 當境城隍 觀察... 大王	1572年 阮炳の撰
178				南陽同	Linh Quang 靈光 và Đông Phương 東方, cả hai vị đều âm phủ Lý Nam Đế 曾陰府李南帝	được phong Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
179			閩慶			Đương Cảnh Thành Hoàng Ba Lộ... Đại Vương 當境城隍 路... 大王, từng phủ Lý Nhân Tông	
180			雲路		Nhật Quang 日光	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
181			蓮鋪		Thiên Bá 天伯	Bản Cảnh Thành Hoàng Thiên Bá... Đại Vương, từng âm phù Lê Thái Tông đánh giặc	1572年 阮炳の撰
182			泳汧		Hồng Công 洪公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương, công thần thời Lê Thái Tổ	1572年 阮炳の撰
183	清化省壽春府富河總各社村神蹟		耕獲		Hồng Công 洪公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương, công thần thời Lê Thái Tổ và Âm thần (không rõ tên)	1572年 阮炳の撰
184				東・美和	Linh Quang 靈光 từng âm phù Lý Nam Đế đánh quân Lương	được phong Đương Cảnh Thành Hoàng Chiêu Phu Linh Quang... Đại Vương	1572年 阮炳の撰
185	清化省東山縣光照總各社村神蹟			照上	Khánh Công 慶公	Bản Cảnh Thành Hoàng Bảo An... Đại Vương	
186					Thụy Công 瑞公	Bản Cảnh Thành Hoàng Minh Vương... Đại Vương	
187	清化省東山縣光照總各社村神蹟			三壽	Khánh Công 慶公, và Thụy Công 瑞公, người Bắc quốc, tỵ nạn sang nước Việt, định cư ở bản trang	Sau khi mất, có linh ứng, âm phù Lê Lợi đánh quân Minh, cả hai vị được phong là Bản Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 本境城隍大王	1572年 阮炳の撰
188	清化省壽春府廣安總各社神蹟		福崗		Thạch Long 石龍 và Viêm Long 炎龍, cả hai đều do trời ban xuống âm phù Lê Thái Tổ đánh quân Minh	được phong là Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍...大王	1572年 阮炳の撰
189			安樂		Đoạn Công 鉞公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương, công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰
190			隆盛		Phúc Công 福公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương, công thần thời Trần	1572年 阮炳の撰

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
191					Hoàng Lục 弘力	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王, công thần thời Lê	1572年 阮炳の撰
192	清化省東山縣廣照 總各社村神蹟		安獲	上	Hiền Công 顯公	Bản Cảnh Thành Hoàng Cao Sơn Đại Vương 本境城隍高山 大王	1572年 阮炳の撰
193				美留		Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王 (không rõ danh tính) (Ngài do trời ban xuống làm thần linh bản khu, từng âm phù Lê Thái Tổ đánh quân Minh)	1572年 阮炳の撰
194	清化省東山縣廣照 總各社村神蹟			長歲	Khánh Công 慶公 và Thụy Công 瑞公, người nước Minh	có linh ứng phù giúp Lê Thái Tổ đánh quân Minh, đều được phong là Bản Cảnh Thành Hoàng Đại Wương 本境城隍大王	1572年 阮炳の撰
195				廣納		Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王 (không rõ danh tính) (Thần có linh ứng giúp dân khang vật thịnh, sau âm phù Lê Thái Tổ đánh quân Minh.)	1572年 阮炳の撰
196	清化省壽春府三弄 總各社村神蹟		孔曹		Quý Công 貴公	Đương Cảnh Thành Hoàng Thái Bảo... Đại Vương 當境城隍太 保... 大王, công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰
197				馮作中	Phương Nương 芳娘	Đương Cảnh Thành Hoàng... Công Chúa 當境城隍... 公主, công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰
198			觀成		Đình Bộ Lĩnh 丁部領	Bản Cảnh Thành Hoàng Đình Tiên Hoàng... Đại Vương 本境 城隍丁先皇... 大王	
199			三樂		Long Quật 龍窟	Đương Cảnh Thành Hoàng... Long Quật Đại Vương 當境城隍... 龍 窟大王, công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
200	清化省東山縣壽鶴 總各社村神蹟			東山	Uy Công 威公	Bản Cảnh Thành Hoàng Uy Linh... Đại Vương 本境城隍威 靈... 大王	1572年 阮炳の撰
201				東山	Chàng Út...	Đương Cảnh Thành Hoàng Chàng Út... Đại Vương 當境城 隍... 大王, đều là công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰
202	清化省壽春府上谷 總各社村神蹟		群信		Liên Công 廉公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Thượng Đẳng Phúc Thần 當境 城隍上等福神, công thần thời Trần	1572年 阮炳の撰
203				金榜	Thiên Quan 天關	Đương Cảnh Thành Hoàng Thiên Quan... Đại Vương 當境 天關... 大王, thần từng âm phù Lý Thái Tông đánh Chiêm Thành	1572年 阮炳の撰
204	清化神蹟雜抄			和利	thần Cao Minh 高明 do trời ban xuống, từng âm phù Lê Thái Tông đánh giặc	được phong Đương Cảnh Thành Hoàng... Cao Minh Đại Vương 當境城隍... 高明大王	1572年 阮炳の撰
205				谷寺	Già Lam 迦藍	Đương Cảnh Thành Hoàng Già Lam.. Linh Thần 當境城隍迦 藍... 靈神, từng âm phù Lê Thánh Tông đánh giặc	1572年 阮炳の撰
206				谷寺	Nam Diển 南澶	Đương Cảnh Thành Hoàng... Nam Diển Đại Vương 當境城 隍... 南澶大王, từng âm phù nhà Lê đánh nhà Mạc	1572年 阮炳の撰
207	清化省東山縣宣化 總各社神蹟		枚川		Dinh Công 穎公	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, công thần thời Lê	1572年 阮炳の撰
208			福溪	銳琛	Uy Công 威公	Bản Cảnh Thành Hoàng Uy Linh... Đại Vương 本境城隍威 靈... 大王	1572年 阮炳の撰
209					Thành Công 威公	Đương Cảnh Thành Hoàng Chàng Út... Đại Vương 當境城隍... 大王, đều là công thần thời Lý	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
210	清化省壽春府神蹟		朗洞下		Quản Vũ 管武	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王, thần có công âm phù Lê Thánh Tông đánh giặc	1572年 阮炳の撰
211				群涇	Sa Môn 沙門	Bản Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 本境城隍... 大王, có công âm phù Trần Thái Tông đánh Ai Lao	1572年 阮炳の撰
212	太平省延河縣各社神蹟		賞延		Đề Công 公	Đề Lại Công Thành Hoàng 吏公城隍	1572年 阮炳の撰
213					Linh Công 靈公	Linh Lại... Thành Hoàng 靈賴... 城隍	1572年 阮炳の撰
214	太平省興仁縣端本社神蹟		端本		Kỳ Công 奇公 奇公 thời Hùng Duệ Vương	được gia phong Đương Cảnh Thành Hoàng Cửa Ai Vũ Quân Thượng Đẳng Phúc Thần Đại Vương 當境城隍 隘武君上等福神大王	1737年 阮賢の抄
215	太平省興仁縣鄧舍總各社神蹟		楊溪		Quang Công 光公	Đương Cảnh Thành Hoàng Ty Mã Linh Quang Đại Vương 當境城隍司馬靈光... 大王, thời Lý Huệ Tông	1740年 阮賢の抄
216	太平省瓊魁縣同直總各社神蹟		東局		Trinh Công 貞公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
217			下同		Kỳ Công 棋公	Đương Cảnh Thành Hoàng Cửa Ai Đại Vương 當境城隍 隘大王, thời Hùng Duệ Vương	
218	太平省瓊魁縣山桐總各社神蹟		鍾靈	鍾靈	Vận Công 雲公 (?)	Đương Cảnh Thành Hoàng... Đại Vương 當境城隍... 大王	1572年 阮炳の撰
219					Đức Công 德公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Bảo Hựu Đại Vương 當境城隍... 保佑大王	1572年 阮炳の撰
220					Kỳ Công 奇公	Đương Cảnh Thành Hoàng... Phúc Thiện Đại Vương 當境城隍... 福善大王, thời Trung Nữ Vương	1572年 阮炳の撰

記号	神蹟名	總名	社名	村名	神名	神名補記	補記
221	太平省太寧府青關縣禮神總各社神蹟		武功	兌	Bùi Long 裴龍	Đương Cảnh Thành Hoàng Bùi Hiến... Đại Vương 當境城隍裴憲... 大王	
222					Thạc Thần 碩神	Đương Cảnh Thành Hoàng Thạc Thần... Đại Vương 當境城隍碩神... 大王, thời Trần Huệ (?) Tông	
223	太平省太寧府青關縣渭陽總各社神蹟		渭陽			Đương Cảnh Thành Hoàng 當境城隍 (người vùng Hải Khẩu, xứ Thanh Hoa, không rõ họ tên, làm nghề đánh cá, sau ra phò Lê Thái Tổ đánh giặc Minh.)	
224	太平省太寧府東關縣平格總各社神蹟		平格		Thành Hoàng Linh Thông Tôn Thần 城隍靈通尊神, thời Lê Thái Tổ		1572年 阮炳の撰
225	太平省太寧府東關縣同為芳關二總神蹟	同為	同渠		Đương Đình 營亭	Đương Cảnh Thành Hoàng Đương Đình Hiến Ung Minh Thông Đại Vương 當境城隍當亭顯應明通... 大王	
226	太平省先興府神溪縣赤壁總進秩社神蹟		進秩		Quảng Đạo 廣道	Bản Cảnh Thành Hoàng Quảng Đạo Linh Thông Đại Vương 當境城隍廣道靈通大王, thời Lý Anh Tông	1572年 阮炳の撰
227	太平省直定縣瑞隴神蹟		仔細		thần song sinh là Trù Công 疇公	Đương Cảnh Thành Hoàng Đại Vương 當境城隍大王	阮賢の写

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

表3 ヴェトナムの城隍神数の省別一覧

省 名			城隍神数		城隍を含む神蹟冊数		神蹟冊数
			A	A/B	B	B/C	
清	化	Thanh Hoa	47	2.76	17	0.89	19
海	陽	Hai Duong	39	2.6	15	0.55	27
河	東	Ha Dong	37	2.18	17	0.17	103
北	寧	Bac Ninh	29	2.9	10	0.34	29
太	平	Thai Binh	16	1.45	11	0.16	70
河	南	Ha Nam	10	1.25	8	0.24	33
富	寿	Phu Tho	10	1.43	7	0.17	42
建	安	Kien An	9	1.29	7	0.27	26
山	西	Son Tay	9	1.8	5	0.17	29
福	安	Phuc Yen	7	2.33	3	0.2	15
乂	安	Nghe An	5	1.67	3	0.21	14
南	定	Nam Dinh	4	1	4	0.12	34
興	安	Hung Yen	3	1	3	0.07	46
寧	平	Ninh Binh	2	1	2	0.05	41
北	江	Bac Giang	0		0		24
諒	山	Lang Son	0		0		3
広	安	Quang Yen	0		0		3
海	防	Hai Phong	0		0		3
太	原	Thai Nguyen	0		0		4
永	安	Vinh Yen	0		0		1
宣	光	Tuyen Quang	0		0		1
河	内	Ha Noi	0		0		1
小	計		227		112		568

表4-1 城隍神の中の神名の類型(1)

省 名			〇〇公	人 名	公 主	〇〇娘	城隍〇〇大王	その他	記載なし	小計
清	化	Thanh Hoa	22	1	0	1	0	23	4	51
海	陽	Hai Duong	26	1	0	1	0	8	6	42
河	東	Ha Dong	2	7	0	0	6	13	9	37
北	寧	Bac Ninh	25	0	0	5	0	2	0	32
太	平	Thai Binh	10	3	0	0	0	2	1	16
河	南	Ha Nam	4	1	1	0	3	1	0	10
富	寿	Phu Tho	0	3	1	0	0	3	3	10
建	安	Kien An	7	1	0	0	0	0	1	9
山	西	Son Tay	2	2	0	0	0	3	2	9
福	安	Phuc Yen	0	0	0	0	1	1	5	7
乂	安	Nghe An	0	2	0	0	0	2	1	5
南	定	Nam Dinh	0	4	0	0	0	0	0	4
興	安	Hung Yen	0	1	0	0	0	2	0	3
寧	平	Ninh Binh	0	0	0	0	0	1	1	2
小	計		98	27	2	7	10	61	33	238

ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察

表4-2 城隍神の中の神名の類型(2)

省	名	當境城隍	本境城隍	大都城隍	その他	城隍神数
清	化 Thanh Hoa	33	14	0	0	47
海	陽 Hai Duong	26	7	1	5	39
河	東 Ha Dong	18	1	4	14	37
北	寧 Bac Ninh	12	15	0	2	29
太	平 Thai Binh	12	1	0	3	16
河	南 Ha Nam	6	0	0	4	10
富	寿 Phu Tho	3	3	0	4	10
建	安 Kien An	7	2	0	0	9
山	西 Son Tay	2	5	0	2	9
福	安 Phuc Yen	1	5	0	1	7
乂	安 Nghe An	1	2	0	2	5
南	定 Nam Dinh	1	0	0	3	4
興	安 Hung Yen	0	1	0	2	3
寧	平 Ninh Binh	1	0	0	1	2
小	計	123	56	5	43	227

表5 城隍神の撰・抄録年別集計

省	名	1472年阮金安の撰	1476年の撰	1499年の撰	1555年? 阮賢の撰	1572年阮炳の撰	1572年? 阮徳寛の撰	1573年の記
清	化 Thanh Hoa					43		
海	陽 Hai Duong	1				35	2	
河	東 Ha Dong		1		1	13		2
北	寧 Bac Ninh					28		
太	平 Thai Binh					8		
河	南 Ha Nam					5		
富	寿 Phu Tho					8		
建	安 Kien An					8		
山	西 Son Tay			1		6		
福	安 Phuc Yen					7		
乂	安 Nghe An					0		
南	定 Nam Dinh					3		
興	安 Hung Yen					3		
寧	平 Ninh Binh					0		
小	計	1	1	1	1	167	2	2

1735年阮賢の撰	1736年阮賢の抄	1737年の撰	1739年阮賢の撰	1740年の撰	1912年の抄	阮賢の抄	空欄	城隍神数
							4	47
		1						39
3			1				16	37
	1							29
		1		1 (阮賢)		1	5	16
		1					4	10
				1 (黎嵩)		1		10
							1	9
					1		1	9
								7
							5	5
							1	4
								3
	1						1	2
3	2	3	1	2	1	2	38	227

<注>

*星槎大学共生科学部

Email; s_takatsu@seisa. ac. jp

- (1) 高津 茂 (1980)「阮朝初期国家祭祀の一考察」『アジア・アフリカ文化研究所研究年報』1980年, 15号. 東洋大学アジア・アフリカ文化研究所, 29-55頁
- (2) 中国における城隍の原義や城隍神信仰の成立と展開・機能についての研究については, 濱島敦俊 (2001)『総管信仰』研文出版. 125-127頁を, ヴェトナムの城隍の解釈については, Nguyen Duy Hinh (1995); 'TIN NGUONG THANH HOANG VIET NAM', Nha Xuat Ban Khoa Hoc Xa Hoi, pp23-100を参照。
- (3) Lao Tu, Thinh Le (Chu bien); 'TU DIEN BACH KHOA NHO-PHAT-DAO', Bien dich Truong Dinh Nguyen, Mai Xuan Hai, Tran Quyen, Nguyen Duc Sam, Phan Van Cac, Bien tap. Mai Xuan Hai, Nha Xuat Ban Van Hoc. 2001 Ha Noi, pp.1363-1364
- (4) Nguyen Duy Hinh (1995), pp.61
- (5) Toan Anh: 'LAMG XOM VIET NAM', Nep Cu. pp.273-274
- (6) Nguyen Duy Hinh (1995), p. 7-9
- (7) Pham Minh Thao, Tran Thi An, Bui Xuan My: THANH HOANG VIET NAM I, Nha Xuat Ban Van Hoa - Thong Tin, Ha Noi, 1997, p. 6
- (8) 『粤甸幽霊集』の版本はヴェトナム漢喃研究院に7種ある。主だったものは15世紀後半に, 黎の阮文賢 (阮文賢という名の官僚はいないことから阮文質とされる。)が統集4編を追加して再編集したもののほかに, 16世紀の景興年間に諸葛氏が追加して41編とした『新訂較評越甸幽霊集』, 19世紀の嘉隆・明命年間に高輝耀による評が記されているもの, 1919年に呉甲豆が重補・校訂した『越甸幽霊集録全編』がある。版本の考証と主だったものは, 陳慶浩, 鄭阿財, 陳義主編『越南漢文小説叢刊 第二輯 神話傳説類 越甸幽霊集録・新訂較評越甸幽霊集・越甸幽霊集録全編・越甸幽霊簡本』學生書局, 法國遠東學院出版, 1992に載録されている。本稿にあつては, 東洋文庫蔵の『粤甸幽霊集』と, ヴェトナム漢喃学院蔵の『新訂較評越甸幽霊集』・『越甸幽霊集録全編』を使用した。
- (9) 高駢が羅城を築こうとした時の神話は, 『粤甸幽霊集』浩氣英靈の「廣利大王」にも共通している。16世紀の『新訂較評越甸幽霊集』歴代人臣では「龍渡蘇公録」となり, 廣利大王が人格神蘇瀝となっており, 蘇百が蘇瀝にとって変わられ三世同居が五世同居に変わったりしているものの国都昇龍城隍であることに変わりはない。20世紀の『越甸幽霊集録全編』歴代輔臣「保國鎮靈定邦國都城隍大王」では, 王の姓は蘇名は瀝となっている。また, 『越甸幽霊簡本』歴代輔臣「國都城隍大王」でも神の名は「姓蘇名瀝」となっている。また『嶺南摭怪列傳』卷二「蘇瀝江傳」の神が蘇瀝であり, 高駢が羅城を築こうとした時に江中で出合い, 夢で「龍肚之精, 地靈之長」を名乗っている。即ち, 『嶺南摭怪列傳』でも卷三續類の「龍度王氣傳」と重なる。ブウ・ゴック・カインは版本の比較検証を行わなかったために, 神名を誤記したものと思われる。
- (10) 『綱目』卷四 屬唐代宗大曆二年 (767) の条に「築羅城」の記事があり, 同書卷五 屬唐懿宗咸通七年 (866) の条に「高駢入居府治築大羅城。」とあることから, ここでいう羅城とは大羅城のことと知れる。
- (11) 『綱目』卷五 屬唐懿宗咸通七年 (866) の条「高駢入居府治築大羅城。」に対する「謹按」に, 「大羅城在龍編。唐張伯儀所築。趙昌, 李元喜繼修之。非自高駢始也。…」とあり, 続いて割註に「大羅城」の築城・修築の概要が記されていることから, 大羅城の築城は高駢に始まるものではない。
- (12) 『粤甸幽霊集録』浩氣英靈「盟主昭感大王」, 『新訂較評越甸幽霊集』灑氣英靈「銅鼓山主傳」, 『越甸幽霊 簡本』灑氣英靈「盟主感威大王」を参照。
- (13) 『嶺南摭怪列傳』卷三續類, 「盟主銅鼓山神傳」,

- 『嶺南摭怪外傳』銅鼓山神傳, 『天南雲籙』卷之二「銅鼓山神傳」を参照。本稿にあつては、陳慶浩、鄭阿財、陳義主編『越南漢文小説叢刊 第二輯 神話傳說類 嶺南摭怪列傳・嶺南摭怪列傳卷三續類・嶺南摭怪外傳・天南雲籙』學生書局、法國遠東學院出版、1992によつた。
- (14) 『嶺南摭怪外傳』には、李の太祖時を内容とする神の伝記が「冲天昭應王傳」, 「開天藤州福神傳」の2つ。李の太宗の時を内容とするものが「銅鼓山神傳」, 「媚醜貞烈夫人傳」, 「應天化育后土神傳」の3つ。李の仁宗の時を内容とするものが「徐道行禪師傳」, 「楊北路禪師傳」の2つ。李の仁宗・神宗の時を内容とするものが「阮明空禪師傳」, 「阮覺海禪師傳」の2つ。李期全体を内容とする神の伝記は9傳ある。
- (15) 高津 茂 (1987) 「李朝建初期の国家と仏教」, 東洋大学アジア・アフリカ文化研究所『研究年報』第22号, 1988年, 34-50頁
- (16) 後藤均平『ベトナム救国抗争史 ベトナム中国・日本』新人物往来社, 1975, 181-183頁
- (17) 『粵甸幽靈續集』は國子監司業阮文賢の著したものである。この阮文賢は阮文質のことであるとの考証が陳慶浩、鄭阿財、陳義主編『越南漢文小説叢刊 第二輯 神話傳說類 粵甸幽靈集録・新訂較評越甸幽靈集・越甸幽靈集録全編・越甸幽靈簡本』學生書局、法國遠東學院出版、1992の「粵甸幽靈集 出版説明」6-7頁においてなされている。阮文質は太和六年(1448)27歳にして進士及第の人物である。それゆえ、『粵甸幽靈續集』は15世紀のものといつてよい。
- (18) 『粵甸幽靈續集』「乾海門尊神」のほかに、『越甸幽靈集録全編』續越甸幽靈集録「乾海門祠」, 『越甸幽靈簡本』瀨氣英靈, 「乾海門三位聖娘」, 『嶺南摭怪列傳』卷三續類, 「乾海門三位夫人傳」, 『嶺南摭怪外傳』「乾海門神傳」, 『天南雲籙』卷之二, 「乾海夫人傳」を参照
- (19) 濱島敦俊 (2001) : 118-119頁参照
- (20) 濱島敦俊 (2001) : 119頁参照
- (21) 濱島敦俊 (2001) : 119-120頁参照
- (22) 『類誌』「祭告穰誓之禮」旗纛祭の項に「我越旗纛之祭, 始於黎初, 歷世遵而行之。」とある。
- (23) 『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太祖 甲辰(明永樂二十二年(1424))遣楊太一。修興道大王祠。禁伐廟樹。。(同年)「令各處。奉事諸功臣廟。」
- (24) 『類誌』「祭告穰誓之禮」盟誓禮には、李太尊元成元年(1028)の記事に次いで、「陳太尊建中三年(1227), 宣盟誓條。」と記されており、その後黎太尊紹平元年の記事が記されている。
- (25) 『全書』本紀實録卷一 黎紀一 太宗 紹平四年(1437), 「加封天下各處神祠。命官致祭。」
- (26) Nguyen Duy Hinh (1995) ; pp.85-86 で、ファン・ケ・ビン(Phan Ke Binh)の解説を紹介し、「福神は3つに分けられる。上等神は天神と李常傑や陳興道のような大きな功績があつた人神を祀つたものである。中等神は村民が久しく祀つている神だが、公には知れ渡つてはいない名の神である。下等神は、村民が祀つてはいるが明らかな事績がない神である。」としている。
- (27) 『類誌』「祭告穰誓之禮」百神祭の項に、「上等祠, 禮物古錢八貫八陌二十文。牛一隻古錢五貫, 豕一口古錢七陌, 羊一牽古錢六陌。饌盤四對, 每對古錢二陌三十文, 共一貫。酒四埕, 共古錢二陌三十文。飯果四盤, 共古錢五陌。魚肉四盤, 共五陌。好線香四十株, 共古錢十文。飯米十石, 共古錢一陌二十文。帑錢千張, 共古錢四十文。蠟燭四雙, 共古錢四十文。中等祠神禮物古錢二貫四陌五十四文。羊一牽古錢六陌。豕一口古錢七陌, 饌盤三對, 每對古錢二陌三十文, 共七陌三十文。酒三埕, 共古錢二陌。好線香三十株, 共古錢十文。飯米八箇, 共古錢二陌四文。蠟燭三對, 共古錢三十文。帑錢七陌張, 共古錢四十文。下等祠神禮物古錢一貫四陌三十三文。豕一口古錢七陌。酒二埕, 共古錢一陌五十文。盤饌二對, 每古錢二陌三十文, 共五陌。饌米六石, 共古錢四十八文。好線香二十株, 共古錢十文。蠟燭二雙, 共古錢二十文。」とある。
- (28) Di san Han Nom (『漢喃遺産』) tren Website: hannom.org.vn の chu de(主題) の ten than(神名)

による。

- (29) 八尾隆生 (2009)『黎朝ヴェトナムの政治と社会』広島大学出版会, 特に105-176頁を中心に参照
- (30) 濱島敦俊 (2001): 131頁参照
- (31) 八尾隆生 (2001)「収縮と拡大の交互する時代—— 16-18世紀のベトナム」, 『岩波講座 東南アジア史 3: 東南アジア近世の成立』239頁
- (32) 高津 茂 (2008)「城隍朱里大王玉譜古籙について —ヴェトナム民間信仰の一考察—」, 『星槎大学紀要 共生科学研究』No.4, 17頁
- (33) Ta Chi Dai Truong (1989): 'THAN, NGUOI VA DAT VIET', Van Nghe Xuat Ban, California, USA, pp.164